

## ご意見をお寄せください



自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。  
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918  
E-mail: jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp  
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

# 自治労きょうと

発行所・自治労京都府本部・〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側エラス京都御所西2F  
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・森本尚秀 編集人・増永浩子  
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

## 2025現業・公企統一闘争



▲京都市職清掃支部より新採再開の取り組みを報告

自治労は、2025現業・公企統一闘争の基本的な目標を、「自治体現場力による質の高い公共サービスの確立」として通年で取り組みを展開。府本部は10月29日に府自治振興課交渉、30日に闘争集会を開催した。

### 対府交渉

交渉には、府本部から森本闘争本部長をはじめ8人で臨んだ。4月に提出した要求に対する、山本府自治振興課長の回答を受け、意見交換を行った。課長は、「安全で良質な公共サービスの確保と効率化は両立すべき課題」と述べ、人員確保については、中長期的配置を求め、災害対応や責任所在の明確化の観点から直営維持の意義を認め、また、業務上必要な資格取得費用は「公費負担が基本」と明言した。

意見交換では、「埼玉県八潮市の道路陥没事故を例に、技術職員の不足が安全確保に影響を与えている」と指摘。安全衛生委員会の実効性確保、住民サービスの質を守る観点から直営化・再公営化の重要性を強調した。山本課長は、「直営を一概に否定するものではない」と述べ、人口減少下での人材確保と公共サービスの維持を両立させるため、府としても各市町村と共に課題解決を図る姿勢を示した。

### 闘争集会

府本部闘争集会は京都府本部で開催し、8単組66名が参加した。府交渉の回答内容を共有するとともに、単組の取り組みを報告し、現場課題の前進に向けた意思統一を図った。

冒頭、森本尚秀闘争本部長が「現場の実態を踏まえ、人員確保や安全衛生対策の充実を求めた。引き続き、公共サービスの質を守る闘いを強めていく」とあいさつ。続いて現評の小西正道議長、公企評の滝川弘太郎議長がそれぞれ、委託化の進行や人員不足など現場の厳しい状況を報告した。交渉経過について増永浩子事務局次長が説明し、府から「市町村の自主性を尊重しつつ、適正な契約や安全対策が図られるよう助言する」との回答を得たことを報告。



▲府に現場の課題を訴える交渉団

職清掃支部の中川支部長が、新規採用再開に至る経過と職場改善の取り組みを紹介。「9年ぶりに採用が再開されたのは、粘り強い要求と議会での理解の積み重ねによる成果である」と述べた。また、青年部の山田部長が、若手職員の加入促進や職場活性化に向けた取り組みを報告し、仲間つくりの輪を広げていく決意を示した。

最後に、岸和田闘争委員の発声による団結ガンバローで集会を締めくくった。

もっ少し自らのことに対して、熱くなることも必要ではないか。(文)

## 2025自治体賃金確定闘争

### 2025人勧の完全実施、地域手当8%早期引き上げなど

# 各自治体首長に要請

人事院は8月7日、月例給を15,014円(3.62%)、一時金を0.05月引き上げる勧告を行った。月例給、一時金の引き上げは4年連続となり、月例給については、若年層に重点をおきつつ、全世代で引き上げが行われた。通勤手当等の改善も勧告された。

府本部は10月17日から、2025自治体賃金確定闘争にむけ、各自治体首長に要請書を提出。公務現場の厳しい状況を踏まえた2025人事院勧告を最低条件とする賃金改善や労使協議を基本とする内容で、11月中旬現在7つの自治体に要請書を手渡した。各単組での労働条件改善のため、要求・交渉を実施しよう。



▲八幡・川田市長



▲木津川・谷口市長



▲京田辺・上村市長



▲井手・西島町長



▲久御山・信貴町長



▲城陽・村田市長

### 【要請内容】

- 2025人事院勧告を踏まえ、月例給、一時金ともに引き上げること。
- 2025人事院勧告を踏まえ、自動車等交通用具使用者に対する通勤手当について、最低でも国並みの支給を行うこと。また、地域手当については昨年、京都府全域で8%と提示されているため、人材確保の観点から早期に引上げること。
- 賃金・労働条件に関しては、労使協議を基本とすること。



▲宇治田原・勝谷町長

府本部は10月29日、京都府自治振興課の山本課長に2025賃金確定闘争要求書を提出した。すべての職員の賃金水準の引き上げや地域手当や通勤手当等諸手当の改



▲京都府自治振興課・山本課長に手交する府本部・森本委員長(右)

善、働き方改革の推進など9項目からなる要求書を提出し、各自治体への助言を求めた。

回答交渉の日程は11月21日。積極的な参加をお願いしたい。

府本部は10月29日、京都府自治振興課の山本課長に2025賃金確定闘争要求書を提出した。すべての職員の賃金水準の引き上げや地域手当や通勤手当等諸手当の改

## 府に確定闘争要求書



じちろうセット共済・継続募集中  
今、保障の見直しを

## 双思交

日本人は実に働き者である。労働者のすべてが、多量の労働者も言わずに身を粉にして働いている。増えつつある業務に追われ生活と仕事、生活は一向に豊かにならない▼おもな要因としては、実質賃金が一方向に増えないところか、今年の9月までは9ヶ月連続でマイナスである。中小企業では、賃金アップを実施していないところもあるという。また、労働組合の有無によってその差がさらに大きくなる傾向にある▼労働に



# 知らないのはもったいない！ じちろうセット共済 新規・継続募集中

じちろうセット共済の  
新規・継続募集のお知らせ

こくみん共済 NEWS  
5124V083

年に一度の  
団体生命共済の  
新規加入・保障の見直し  
チャンス！

小さい負担で  
幅広く保障をカバー  
組合員とその家族（だけ）が加入できる  
じちろうセット共済

組合員と  
その家族だけ？  
保障を確認  
しなくちゃ！

組合員専用の  
割安な掛金・充実の保障

団体生命共済

早く始めるとお得！  
退職後の年金  
のための  
積み立て制度

長期共済

税制適格年金

掛金

スケールメリットで割安な掛金を実現！  
毎年の決算で剰余が生じた場合は割り戻し金も。

保障

死亡・入院・通院保障はもちろん、  
がん保障・先進医療など、幅広くカバー。

子どもは未来に  
備える  
積み立て制度

親子共済

▶▶▶ 詳しくは「じちろうセット共済パンフレット」をご覧ください

この機会に保障の見直しを

共済期間 2026年4月1日から1年間

申込書類提出先 所属の組合まで

※各単組、支部により申込書受付の締切日は異なります。  
詳しくは所属の組合までご確認ください。

Q 技師の人材確保について（城南衛管労組・山本博之）

技師の応募が少なく、中々人が集まらない。委託化が進み事業が無くなるかもしれないという危惧を抱えている。

鬼木議員からの回答

仕事内容を明確にし、応募してもらえるような宣伝をする。城南衛生管理組合にしかできないことを活かし、技術の継承化をはかる。

Q 選挙事務について（久御山町職・小笠原集）

私は久御山町職員であるが、今年度は京都府の選挙管理委員会事務局を担う部署に外向している。選挙の実施が決まると、選挙事務局の業務量は膨大になり、2ヶ月以上の連続した深夜残業に加え、休日出動も発生し、労基法等の労働基準を無視した労働を強いられる。生活習慣の乱れが続くことにより、個々に不調を訴える職員も少なくない中、何が何でもやりとげなければいけないという空気のもと、担当職員は業務に当たっている。

全国的にも選挙事務に当たっている職員は同様の状況と思われるが、働き方改革等によりさまざま業務の在り方が見直されている中、選挙事務に関しては一向にそうした動きが見られないように感じているが、国や他府県団体ではこのようなことは問題となっていないのか。

鬼木議員からの回答

各都道府県や市町村選管において選管の事務が膨大であるという話はよく伺っている。

単に業務量が多いから何とかしてほしいと訴えるよりも、実際に担当している職員として、具体的にどのような事務が大変なのか、また、こうすれば効率化できると思われる工程があるならば、その辺りを示していただけるとより訴えやすくなる。

Q インフラの老朽化について（自治労京都市職・吉村玲音）

鬼木さんは公共インフラの委員会に所属しているとのことだが、現在問題となっているような上下水道や道路などのインフラの老朽化については、委員会では何か打開策が出ているかお尋ねしたい。京都市においても技術職員が人手不足であり、危機的状況である。

鬼木議員からの回答

公共インフラの委員会で色々と話し合っているが、抜本的な解決策は出ていない。給与面では、やはり公務員の給与アップは民間と比べると1年遅れてしまうため、給与面では民間に太刀打ちできない。そのため、採用市場においては初任給等の給与面ではなく仕事の魅力で勝負していくしかないと考えられる。公務員の仕事がいかに魅力的であるかを発信し、人材確保に努めていく必要がある。

Q 公共交通の課題について（京交労組・倉田陽平）

交通業界において人手不足が深刻な問題で、オーバーツーリズムや職員不足により休みなく働き続ける職員が多く、ワークライフバランスが取れていない。

また人手不足を補うために、京都市では自動運転の導入が検討されている。組合の立場では反対をしているが、理想的に人と自動運転が共存できれば過剰労働が軽減されるのではないかと私は思う。国としてこの問題に対してどれくらい議論が進んでいるのか、お聞きしたい。

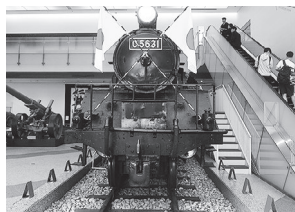
鬼木議員からの回答

国としてもこの事に関して、深刻な問題としてとらえている。自家用車が運転できない高齢者の足を維持することは、交通権を保障する事につながる。国として補助金などにより、もっと自治体を支えていこうという時流にはなっている。また、抜本的に法律改正などによる「リデザイン」のために国もがんばっている。



▲自公連立に終止符が打たれた日に国会を見学

政報告があり、石破政権退陣後の政局への不安、物価高や人材不足で苦しい状況にある国民生活を少しでも早く好転させなければならぬと述べた。参加者からは、各職場の現状や課題を述べて、鬼木議員と雑談を交えながら、終始和やかな雰囲気の中、意見交換を行った。（質問内容は下段）



▲遊就館を見学

2日目は、靖国神社と敷地内にある遊就館を見学したのち、千鳥ヶ淵戦没者墓苑を参拝した。靖国神社は、第二次世界大戦のA級戦犯を含む軍人・軍属が祭られており、遊就館では神格化された戦争指導者の展示に違和感を覚えつつ、戦争の歴史を振り返った。続いて訪れた千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、戦争で亡くなった一般市民が祀られており、参加者は310万人の尊い犠牲者の魂に手を合わせた。

府本部は10月10日～11日に2026府本部ユニオンカレッジのプレ事業として、「国会見学＆平和祈念ツアー」を実施し、6単組8名が参加した。

1日目の国会見学では、国会議事堂を見学した後、参議院会館にて鬼木まこと自治労組織内参議院議員と意見交換を行った。冒頭、鬼木議員から国会報告があり、石破政権退陣後の政局への不安、物価高や人材不足で苦しい状況にある国民生活を少しでも早く好転させなければならぬと述べた。参加者からは、各職場の現状や課題を述べて、鬼木議員と雑談を交えながら、終始和やかな雰囲気の中、意見交換を行った。（質問内容は下段）

その後、今年8月に参議院で副議長に就任した京都選出の福山哲郎参議院議員を訪問し、副議長室にて意見交換を行った。京都から参議院の副議長が選出されたのは憲政史上初めてで、「これ



▲福山哲郎参議院副議長とも意見交換

教えて! 鬼木さん

ユニオンカレッジメンバーより鬼木まこと参議院議員に職場の悩みや課題に感じていることを質問した。

Q 国保労組の課題について（国保労組・熊野宏哉）

被用者保険の適用拡大が進み、国民健康保険の被保険者数減少によるレセプト件数の減少や財政悪化が懸念され、雇用や賃金への影響が心配される。

また、デジタル化の進みに偏りがあり、IT技術を駆使した業務の効率化を一層行っていく必要がある。

鬼木議員からの回答

被用者保険の適用拡大に関する問題については、国保労組協議会からも課題共有がなされているため、重々承知している。国民健康保険制度の維持や国保労組の職場安定のためにも各方面への働きかけを継続していく。また、医療DXをはじめとするデジタル化も喫緊の課題であり、進めていく必要があるものである。マイナンバーカードを用いたマイナ保険証も制度や内容が国民のためになっていない部分もあるので、その点を改善していきたいと思う。

